

19
Fri

研究発表

会場
関西学院会館
中央講堂

受付 12:00～
於 中央講堂

【分科会Ⅰ】

関西学院会館

13:00-13:40
バルテュス《猫と鏡Ⅲ》(1989～94年)にみる写真利用
▶ 松野敬文 関西学院大学

13:40-14:20
藤田嗣治『黙示録』三連作について
▶ 片野道子 天一美術館

14:20-15:00
フリーダ・カーロと同時代美術 ―《ふたりのフリーダ》の解釈を中心に―
▶ 杉前真琴 神戸大学

休憩

15:10-15:50
舟越保武《長崎二十六殉教者記念碑》についての一考察
―その歴史的背景と造形的典拠を中心に―
▶ 野城今日子 成城大学

15:50-16:30
石井鶴三、《うたう女》と制作期 一空で作る造形法と作品主題の検証―
▶ 福江良純 北海道教育大学

【分科会Ⅱ】

中央講堂

13:00-13:40
海北友松の袋人物 一狩野山楽・内膳との比較を中心に―
▶ 小松百華 慶應義塾大学

13:40-14:20
曾我蕭白筆「虎溪三笑図」の表現と主題に関する一考察
▶ 印田由貴子 板橋区立美術館

14:20-15:00
18世紀前半の京都における空間表現 一始興・宗川・尚郁を中心に―
▶ 有賀茜 石川県立美術館

休憩

15:10-15:50
池大雅による遍照光院《山亭雅会図襖》について
▶ カラヴァエヴァ・ユリヤ 関西大学

15:50-16:30
明治時代の「元禄模様」の特質 一江戸時代の小袖模様との比較から―
▶ 樋口温子 関西学院大学

20
Sat

研究発表

会場 B号館

受付 9:30～
12:30
於 B号館1階

【分科会Ⅰ】

B号館 1階 101号室

10:00-10:40
メンデルスゾーンとアングルによるカメラルシダ利用と描画の特質
▶ 小田茂一 愛知淑徳大学

10:40-11:20
グスタフ・クリムト《フリーデリケ・マリア・ペーアの肖像》における中国の人物群像
―図像の着想源と主題に関する考察―
▶ 尾崎登志子 大阪大学

休憩

11:30-12:10
フランス第二帝政期における裸婦像の受容
―エドゥアール・マネ《オランピア》の同時代評価をめぐって―
▶ 井口俊 東京大学

12:10-12:50
13世紀のサン＝ドニ修道院付属聖堂改築
―トランセプトにおける「天上のエルサレム」の参照―
▶ 徳永祐樹 慶應義塾大学

【分科会Ⅱ】

B号館 2階 201号室

10:00-10:40
江戸時代前期の色絵磁器「古九谷」の意匠について
―「色絵丸文散らし波形皿」(出光美術館)を中心に―
▶ 川合加容子 学習院大学

10:40-11:20
重要文化財 林原美術館所蔵《綾杉地獅子牡丹蒔絵婚礼調度》の研究
―図様分析を中心に―
▶ 菊地泰子 大阪市立美術館

休憩

11:30-12:10
北京中央美術学院収蔵の矢崎千代二の新出作品をめぐる考察
―基準作の呈示と様式変遷の検討―
▶ 横田香世 京都府文化芸術振興課

12:10-12:50
西洋からみた土田麥僊 ―スウェーデン画家ニルス・ダルデルの作品を通して―
▶ 上田文 関西学院大学

昼休み 12:50-13:40

会場 中央講堂

受付 12:45～
17:00
於 中央講堂

総会

13:40-14:20

『美術史』論文賞表彰式

14:20-15:00

休憩

招待講演

15:15-17:30

装演技術と文化財修理の近代化
▶ 岡 興造 氏 (株式会社 岡墨光堂 会長)

会場 関西学院会館

受付 17:30～
於 関西学院会館

懇親会

18:00-20:00

21
Sun

研究発表 午前の部

【分科会Ⅰ】

B号館 1階 101号室

10:00-10:40
フィリップ・リッピのスポレート大聖堂壁画に関する一考察
―《受胎告知》を中心に―
▶ 渡辺有美 慶應義塾大学

10:40-11:20
ダヴィデおよびベネデット・ギルランダイオの画歴と「セントルイスの画家」の同定
▶ 伊藤拓真 神戸女学院大学

11:20-12:00
サンドロ・ボッティチェッリ《神秘の降誕》
―天使と人間の抱擁のモチーフについて―
▶ 平井彩可 東京藝術大学

【分科会Ⅱ】

B号館 2階 201号室

10:00-10:40
面打ち矢野啓通と能面写し制作システムの実態
―松坂屋コレクションの朝倉尉面を手掛かりに―
▶ 大谷優紀 早稲田大学

10:40-11:20
金襴及び糸錦の成立に関する試論
―附馬贈衛国王墓出土の金糸入り錦を手掛かりに―
▶ 福本有寿子 関西学院大学

11:20-12:00
北宋山水画史における《十詠図卷》の意義について
▶ 倪晋秀 同志社大学

昼休み 12:00-13:00

研究発表 午後の部

【分科会Ⅰ】

B号館 1階 101号室

13:00-13:40
古代ギリシアのグリフィンの起源 一図像学的変遷の再検討―
▶ 小石絵美 武蔵野美術大学

13:40-14:20
カパドキア「大鳩小屋の聖堂」の壁画プログラム再考
▶ 浅野和生 愛知教育大学

14:20-15:00
ローマ七大聖堂への霊的巡礼とイメージの役割
―再発見された逸名画家による《キリスト磔刑》の意味内容と機能―
▶ 杉山美耶子 ヘント大学・慶應義塾大学

【分科会Ⅱ】

B号館 2階 201号室

13:00-13:40
「春日権現験記絵」と蓮華王院「六道絵」
▶ 田中水萌 神戸大学

13:40-14:20
御物本『扇面散屏風』主題の再検討
―保元・平治物語図としての解釈―
▶ 下山來夏 五島美術館

14:20-15:00
近世歌仙色紙絵に見る「古典」の受容とその再構築
―土佐光起筆「二三四帖」と
酒井抱一筆「三十六歌仙図色紙貼交四季草花図屏風」―
▶ 関彩与子 学習院大学

会場案内



①：B号館 ②：中央講堂
③：関西学院会館

* 関西学院会館⇔中央講堂間は歩いて3分ほどかかります